

nanozone COAT



nanozone COAT

ナノゾーンコート

CLEAR & CLEAN

吹き付けた部分が建物を守る
光触媒でまるで抗菌ルームに
安心・安全の技術を手軽に。

nanozone
COAT 

認定施工店

ナノゾーンソリューションとは

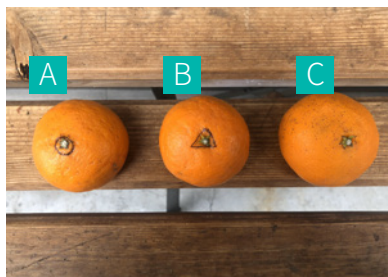


光触媒効果を最大限に発揮させる 独自の超微粒子酸化チタンを使用

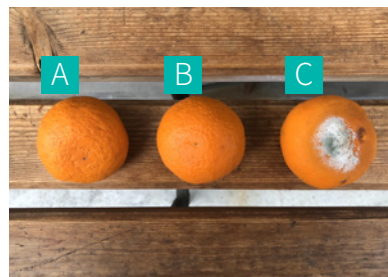
粒子を小さくすることにより重力の影響を受けず、設置面に吸着することを可能にしました。
その結果、**バインダー(接着剤)**を使用せず施工できるため、酸化チタン粒子がバインダーに埋もれることなく光触媒効果を最大限に発揮できます。
そのためわずかな光や一瞬の光にも反応し、**菌やウイルスを瞬時に不活化**。臭いの原因となるアンモニアやVOCをすばやくクリーンにして、長期的に効果を発揮し続けます。

他の追随を許さない 圧倒的な効果

このページだけでは語り切れない実証結果。
論より証拠、右図のみかんの差を見れば一目瞭然。**防カビにも圧倒的な効果を発揮し、**
それでいて人体に無害です。



A: ナノゾーンソリューション施工したみかん
B: ナノソルCC施工したみかん
C: 施工なし



A、Bのみかんにはカビは見られなかったが
Cの施工をしていないみかんにはカビが発生

数字が語るナノゾーンコートの方

次々に寄せられる驚くべき試験結果。
ナノゾーンコートのここがすごい。高性能
すぎて試験が不成立に!?一般的に、抗ウ
イルス性試験においては非常に微細な細
胞にウイルスを感染させて培養します。と
ころが、ナノゾーンコートはその分解力の
高さから培地になる細胞まで最終的に分
解してしまった為、試験としては不成立と
いうケースが見られました。

※目に見えないレベルの微細胞にのみ作用す
るため人体への影響はありません。
ご安心下さい。

抗ウイルス性試験

A型インフルエンザウイルス

ウイルス減少率

99.974%

【試験方法】

JIS L 1922:2016(ISO 18184:2014 準用) 準用

【ウイルス力価の定量方法】

ブランク法

【試験で使ったウイルスの種類】(宿主細胞)

A型インフルエンザウイルス(H3N2)ATCC VR-1679

【MDCK細胞 ATCC CCL-34】

抗ウイルス性試験

ネコカリシウイルス

ウイルス減少率

99.997%

【試験方法】

JIS L 1922:2016(ISO 18184:2014 準用) 準用

【ウイルス力価の定量方法】

ブランク法

【試験で使ったウイルスの種類】(宿主細胞)

ネコカリシウイルス(F-9)ATCC VR-782

【CRFK細胞 ATCC CCL-94】

ガス除去性能評価試験

アンモニアガス

2時間後の
ガスの減少率

99%

【試験方法】

SEKマーク繊維製品認証基準で定める方法
((一社)繊維評価技術協議会)ただし、試料量は
200cm²とした。

【使用バッグの種類】

スマートバッグPA(ジーエルサイエンス社製)

【試験で使ったガスの種類】

アンモニアガス

外壁でも真価を発揮するナノゾーンコート

これまでの光触媒の課題を解決したナノ
ゾーンコート。
光が当たる環境であれば理論通りの性能
を発揮し続ける次世代の光触媒は屋外
の防汚などにおいても最高のパワーを
発揮します。



洗浄後に施工



約4ヶ月後



約20ヶ月後

コーティング剤として使用すると

コーティングの常識を変える

唯一無二の光触媒の原料。

吹き付けて乾燥させるだけで施工面がコーティングされ、**分解・抗菌・消臭・**

防汚・水浄化など、様々な効果を【長期間】に渡って得ることができます。

光が当たる限り触媒され続け、ほとんどメンテナンスがいりません。

2~3nmという目に見えない単位であらゆる物質の表面に付着・結合し、高いポテンシャルエネルギーで極めて高い光触媒活性力を発揮します。



ナノゾーンコート施工をすると光が当たるだけでさまざまな効果を発揮します。



外 壁



ト イ レ



浴 室



キ ャ チ ン



今までの光触媒との違い

従来の酸化チタン

粒子径が大きい

自力で施工面に結合できないため
バインダー(接着剤)が必要

バインダー(接着剤)が剥がれると
酸化チタン粒子も一緒に剥がれる

バインダー(接着剤)に粒子が埋もれるため
強い太陽光が必要

ナノゾーンソリューションの酸化チタン

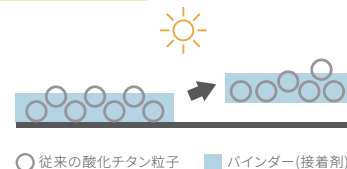
粒子径が小さい

自力で施工面に結合するため
バインダー(接着剤)不要

バインダー(接着剤)を使用していないため
一緒に剥がれない

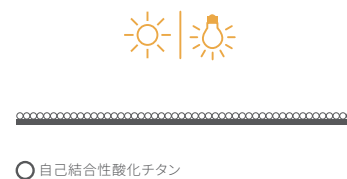
バインダー(接着剤)がなく粒子が露出しているため
僅かな光で酸化チタン粒子が効果を発揮

■従来の酸化チタン



○ 従来の酸化チタン粒子 ■ バインダー(接着剤)

■ナノゾーンソリューションの酸化チタン



○ 自己結合性酸化チタン

類似製品との比較

	ナノゾーン ソリューション	クレベリン	次亜塩素酸水
主成分	酸化チタン	二酸化塩素	次亜塩素酸
除菌効果	◎	◎	◎
即効性	◎	◎	◎
持続性	◎	△	△
消臭効果	◎	○	×
貯蔵安定性	腐敗なし	1年	40日

ナノゾーンコートの特徴



効果が持続する

(チタンが分子結合する事によりメンテナンスフリー)



住みながらの施工可能

(施工面が質感も色も変わることがないので、そのままコーティング可能)



PCや電化製品も施工可能

(施工面が濡れることがないので、クロス、木材、石材、床材、布、紙など素材を選ばず施工可能)



人体やペットには無害

(科学的に人体には無害の成分)

私達の身の回りどのくらい汚れているの？



スマホ
RLU値 2094



マウス
RLU値 4901



バッグの持ち手
RLU値 5580



キーボード
RLU値 6512



ルミテスター Smart

洗浄後の清浄度を数値化できます。

RLU
基準値

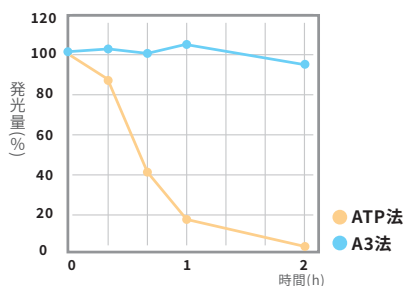
手・指 管理基準値(RLU) 2000
手すり 管理基準値(RLU) 500

マウス 管理基準値(RLU) 500
医療器具 管理基準値(RLU) 100

ATPふき取り検査(A3法)のメリット

■溶血検体のATP量とATP+ADP+AMP量の比較

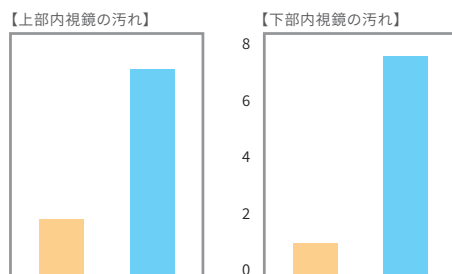
溶血によりATPはADPやAMPに分解します。
A3法であれば正確に測定できます。



【方法】血液を純水で10倍希釈し35℃で保存した。
経時的にATP量とATP+ADP+AMP量を計測した。

■消化器内視鏡チャンネル内の汚れを比較

内視鏡の汚れにはATPだけでなくADPやAMPが多く含まれます。



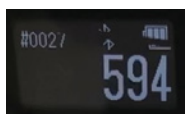
汚れの指標となる物質が多い検査方法が感度的に有利である。
A3法はATP法と比べて、上部の汚れを3.5倍、下部の汚れを7.6倍
高感度に検出できた。

ナノゾーンコート施工によるRLU値の変化



マウス

約94% 減少



施工前

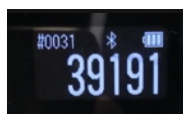
施工5分後

施工から2週間後



テーブル

約99% 減少

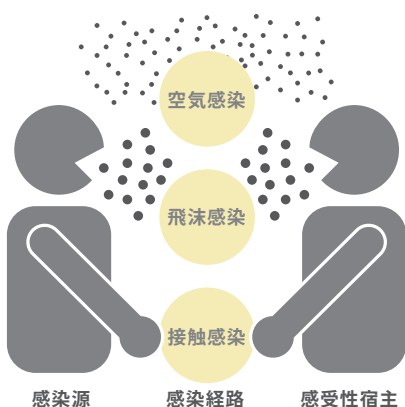


施工前

施工5分後

施工から2週間後

ナノゾーンコート施工で感染経路を断つ効果が期待



■ウイルスの大きさ

